

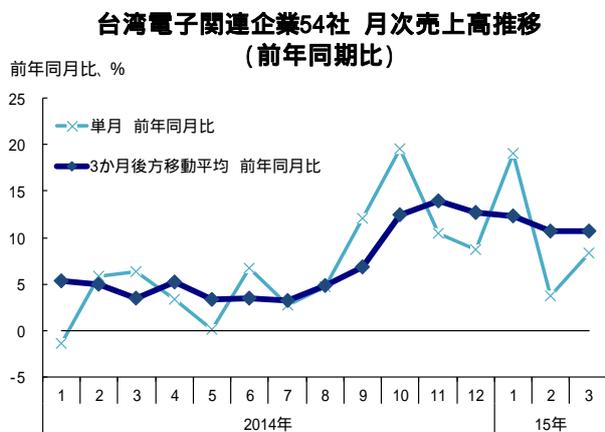
台湾電子関連企業 月次売上高（2015年3月）
 旧正月明けの立ち上がりは順調だが、中国向け出荷には引き続き注意が必要

中国スマートフォン向け出荷が回復するも在庫レベルは高水準な模様

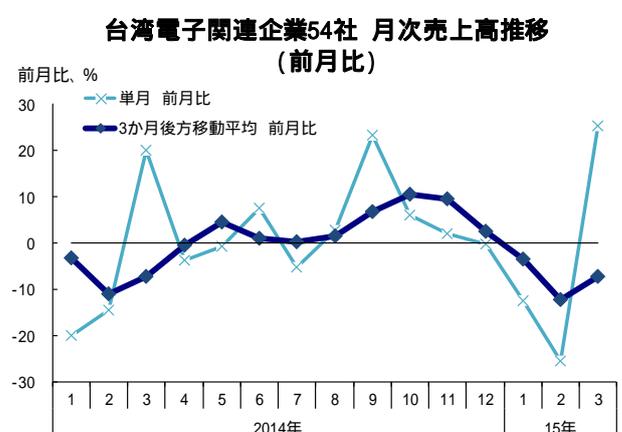
- ・世界の電子部品・デバイス市場の先行指標となる台湾の主要電子関連企業 54 社の 2015 年 3 月の売上高は、前年同月比 8.3%増（前月比 25.4%増）となった（図表 1、2）。2 月の売上高に比べて、前年同月比、前月比ともに伸び率が拡大または改善しており、旧正月（2月18日～24日）明けの生産の立ち上がりは、ひとまず順調な様子が伺える。
- ・また、後述するように、2月まで減速傾向にあった中国スマートフォンメーカー向けのLSI設計を行う企業の売上高も、3月には改善した。ただし、中国市場の成長鈍化や競争激化などを背景に、中国スマートフォンメーカーの在庫レベルは高い状態にある模様で、在庫調整リスクが払拭したと判断するには時期尚早だろう。
- ・今後については、各スマートフォンメーカーの新モデル向けの出荷が伸びると見込むものの、中国スマートフォンメーカー向けの動向次第では4～6月期の増勢が鈍化する可能性もあり、その動向については引き続き注意する必要がある。

図表 1 前年同月比の伸び率は拡大

図表 2 前月比では 25%増加



注: 台湾企業54社はTWSEに上場している電子関連の代表的な企業を浜銀総合研究所が抽出。出所: Taiwan Stock Exchange, M.O.P.S.より浜銀総合研究所作成

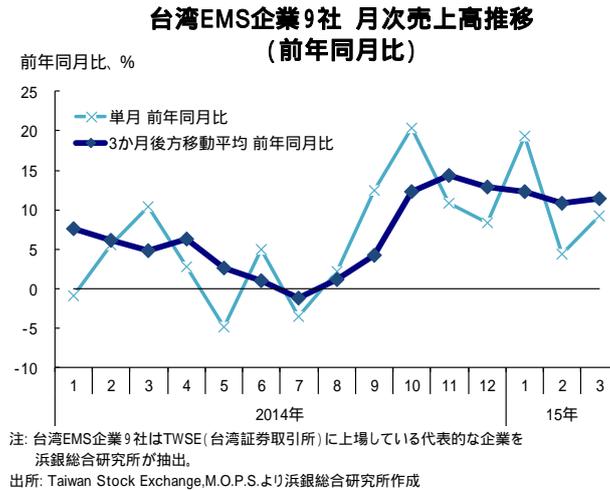


注: 台湾企業54社はTWSEに上場している電子関連の代表的な企業を浜銀総合研究所が抽出。出所: Taiwan Stock Exchange, M.O.P.S.より浜銀総合研究所作成

EMS の前年同月比の伸び率は拡大

- ・EMS（Electronics Manufacturing Service、電子機器の受託製造）9社の3月の売上高は前年同月比 9.2%増と前月からの伸び率が拡大した（図表 3）。また前月比では 26.4%増と3か月振りに増加に転じた。
- ・企業別には、最も売上高の大きい Hon Hai が前年同月比 9.9%増（前月比 20.8%増）と伸びたほか、Pegatron や Compal の売上高も回復した。また、アップルウォッチの組み立てを行う Quanta の売上高も同 7.5%増（同 45.5%増）と伸びたが、これはアップルウォッチによるものというよりもノートパソコンの出荷が伸びた影響が大きいと推察する。

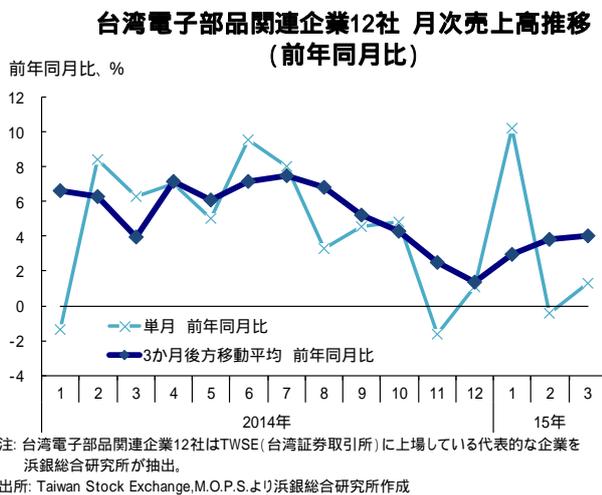
図表3 EMSの売上高の前年同月比の伸びは拡大



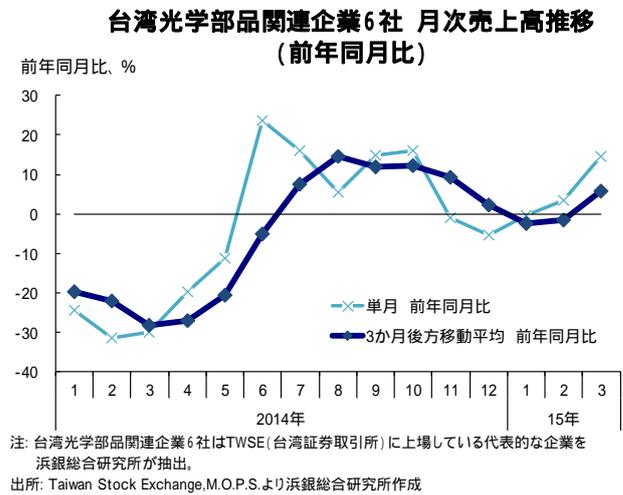
電子部品関連企業と光学部品関連企業の増勢も持ち直す兆し

- 電子部品関連企業12社の3月の売上高は前年同月比1.3%増(前月比24.4%増)となり、改善傾向を示している(図表4)。また、光学部品関連企業6社についても、3月の売上高が同14.4%増(同34.8%増)と大きく伸びた(図表5)。なお、光学部品関連企業には、2014年10月に会社更生手続きを申請したタッチパネルメーカーWintekの売上高は含んでいない。Wintekを含めた7社合計では、同12%減(同34.2%増)となる。

図表4 電子部品の増勢は回復傾向



図表5 光学部品は底打ちの兆し

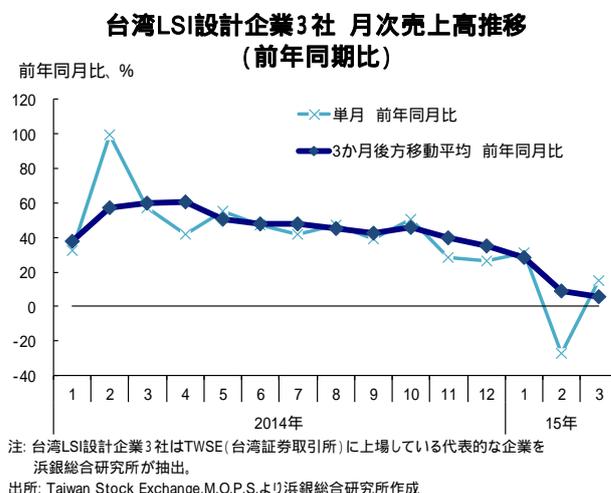
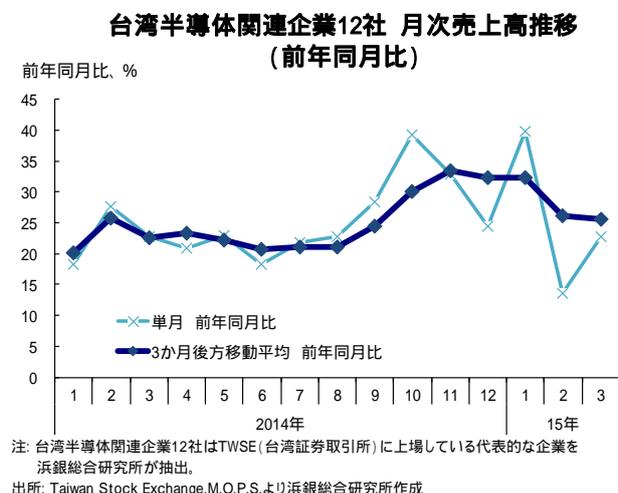


半導体関連企業の売上高は前年同月比2割増、中国スマホ向けLSI出荷も反転増

- 半導体関連企業12社の3月の売上高は、前年同月比22.8%増(前月比19.9%増)となった(図表6)。分野別には、半導体前工程と後工程、LSI設計が前年同月比で2ケタ%増となっており、旧正月明けの出荷が順調に立ち上がっている様子が伺える。
- LSI設計3社について詳しくみると、3月の売上高は前年同月比14.9%増(前月比74.5%増)となり、2月の落ち込みから一転して増加した(図表7)。背景となっているのは、

中国スマートフォン向けの製品を多く手掛ける MediaTek の売上高が大きく伸びたことによる。

図表6 半導体関連企業の増勢は再び強まる 図表7 LSI 設計も3月は持ち直し



中国スマートフォンメーカーの在庫調整リスクは未だ払拭できず

- ・ただし、MediaTek の3月の数字をもって、中国スマートフォンメーカーの在庫調整リスクが払拭したと判断するには時期尚早だろう。中国市場の成長鈍化や競争激化などを背景に、中国スマートフォンメーカーの在庫レベルが未だ高い状態にある模様だ。実際に、台湾の複数のメディアは、中国スマートフォン大手の Huawei の傘下にある半導体企業が、半導体後工程メーカーへの4～6月期の発注量を大幅に下方修正したと報道している。
- ・中国スマートフォン業界では、低価格帯から中価格帯において中国国内メーカー同士での競争が激化しているほか、高価格帯においても Apple や Samsung とのシェア争いが激しくなっている。
- ・日系電子部品メーカーの業績に影響するのは高価格帯端末および、中価格帯の中でも高性能な部品を搭載している端末の販売動向である。今後この価格帯の端末を製造する中国スマートフォンメーカー向けの動向次第では、日系電子部品メーカーの4～6月期の増勢が鈍化する可能性もあり、その動向については引き続き注意する必要がある。

担当：調査部 産業調査室 山鹿 亜紀子
TEL 045-225-2375
E-mail: yamaga@yokohama-ri.co.jp

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。